

製品安全データシート

商品名 : 三井パーライト

整理番号 MSDS No-PE004
 制定日 平成6年1月10日
 改訂日 平成19年4月1日

1、化学物質等及び会社情報	<p>化学物質等の名称:パーライト(天然ガラス) 製品名 :三井パーライト(商品名)</p> <p>会社名 :三井金属鉱業株式会社パーライト事業部 住所 :〒141-8584 東京都品川区大崎1-11-1 担当部門 :営業部 電話 03-5437-8086 FAX 03-5437-8088 緊急連絡先 :東京営業所 電話 03-5437-8086 FAX 03-5437-8088</p> <p>推奨用途と使用上の制限:建材用・コンクリート用・断熱用原材料、土壌改良材、園芸用土壌、ろ過助剤</p>
2、危険有害性の要約	<p>GHS分類:(平成19年1月31日現在の公表分) パーライト:該当しない 酸化アルミニウム(構成成分 Al_2O_3):該当 酸化カルシウム(構成成分 CaO):該当 酸化鉄(構成成分 Fe_2O_3):該当 その他の構成成分は現在該当しない *該当構成成分のGHS表示は別紙1~別紙3に示す *労働安全衛生に係わる基準は8の項に示す</p>
3、組成、成分情報	<p>物質名 :パーライト CAS No:93763-70-3(発泡パーライト) 組成 :パーライト 100% 構成成分 :SiO_2 65~80% 内遊離けい酸(結晶性シリカ)は1%未満 :Al_2O_3 12~17% :Fe_2O_3 0.5~2% :CaO 0.1~2% :K_2O 3.5~5% :Na_2O 3~4%</p>
4、応急措置	<p>目に入った場合 :ガラス質なので擦らず、直ちに流水で十分に洗眼する。 刺激が止まらない時は医者に診てもらう。 皮膚に付着した場合:風で吹き飛ばすか、流水で洗い流す。 吸入した場合 :水又は温水でうがいをし、鼻をかんで粉塵を除く。 飲み込んだ場合 :水で口の中をうがいます。</p>
5、火災時の措置	<p>消火法・消火剤 :不燃物</p>
6、漏出時の措置	<p>真空掃除機で吸引するか、濡れたモップ等で拭き取る。 大量に流出した場合、散水して粉塵の飛散を防止する。 ガラス質だから物品表面に傷が残る危険がある時は散水で十分に洗い流す。</p>
7、取扱い及び保管上の注意	<p>取扱い :取扱い時には局所排気装置及び防塵マスクの使用が望ましい。 容器(主に紙袋)を破損しないよう注意、容器が破損したら直ちにテープ等で補修し、粉塵発生を防止する。 保管 :乾燥した場所に保管する。水漏れ、湿気をさける。</p>

8、暴露防止及び 保護措置	<p>管理濃度:厚生労働省 作業環境評価基準(粉じん)H17.4.1 改正基準による。 $E=3.0/(0.59 \times Q+1)=1.8\text{mg}/\text{m}^3$ E:管理濃度mg/m^3、 Q:当該粉塵の遊離けい酸(結晶性シリカ)含有率%</p> <p>許容濃度:日本産業衛生学会の許容濃度(平成16年4月13日付け勧告) 第2種粉塵=遊離けい酸(結晶性シリカ)10%未満の鉱物性粉塵</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>吸入性粉塵</td> <td style="text-align: right;">$1\text{mg}/\text{m}^3$</td> </tr> <tr> <td>総粉塵</td> <td style="text-align: right;">$4\text{mg}/\text{m}^3$</td> </tr> </table> <p>設備対策:局所排気装置</p> <p>保護具</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>呼吸用保護具</td> <td>:防塵マスク</td> </tr> <tr> <td>保護眼鏡</td> <td>:防塵眼鏡</td> </tr> <tr> <td>保護手袋</td> <td>:保護手袋</td> </tr> <tr> <td>保護衣</td> <td>:衣服</td> </tr> </table>	吸入性粉塵	$1\text{mg}/\text{m}^3$	総粉塵	$4\text{mg}/\text{m}^3$	呼吸用保護具	:防塵マスク	保護眼鏡	:防塵眼鏡	保護手袋	:保護手袋	保護衣	:衣服
吸入性粉塵	$1\text{mg}/\text{m}^3$												
総粉塵	$4\text{mg}/\text{m}^3$												
呼吸用保護具	:防塵マスク												
保護眼鏡	:防塵眼鏡												
保護手袋	:保護手袋												
保護衣	:衣服												
9、物理的及び 化学的性質	<p>外観等 :白色又は淡灰色のガラス質粉末 臭い: 無 揮発性 :無 pH: 7 融点: 1000℃以上 真比重 :2.2~2.3 嵩比重:0.04~0.25 溶解度 :水に殆ど不溶 酸性液に微溶、アルカリ液に可溶 引火点・発火点 :不燃性 可燃性 :無 発火性(自然発火性、水との反応性) :無 酸化性・自己反応性・粉塵爆発性 :無</p>												
10、安定性及び 反応性	<p>安定性 :安定 反応性 :フッ化水素と反応し有毒な4フッ化けい素ガスを発生</p>												
11、有害性情報	<p>急性毒性:現在知見無し。 皮膚腐食性/刺激性:現在知見なし 目に対する重篤な損傷/刺激性:現在知見なし 呼吸器感作性又は皮膚感作性:現在知見なし 生殖細胞変異原性:現在知見なし 発がん性:日本産業衛生学会の発がん性物質リストには記載されていない。 生殖毒性: 現在知見なし 特定標的臓器/全身毒性-単回ばく露:現在知見なし 特定標的臓器/全身毒性-反復ばく露:現在知見なし 吸引性呼吸器有害性:現在知見なし その他:目に入った場合一時的刺激や異物感、吸入した場合咳き込みや鼻喉への刺激</p>												
12、環境影響情報	<p>生態毒性:現在知見無し。 残留性/分解性:現在知見なし 生物蓄積性:現在知見なし 土壌中の移動度:現在知見なし</p>												
13、廃棄上の注意	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法令に基づき廃棄する。</p>												
14、輸送上の注意	<p>国連分類:該当せず 海洋汚染物質:該当せず 容器(主に紙袋)が破損しないよう、特に水濡れや乱暴な取扱いを避ける。</p>												

15、適用法令	<p>労働安全衛生法：第 57 条の 2「通知対象物質」に、構成成分であるSiO₂(シリカ)、Al₂O₃(酸化アルミニウム)、CaO(酸化カルシウム)、及びFe₂O₃(酸化鉄)が該当する。ただし、これら成分は単体で存在せず、全成分でパーライト(ガラス(非結晶性))を構成している。従って、人体に及ぼす作用、注意事項等は本シートの記載事項に準じる。</p> <p>粉じん障害防止法 じん肺法 作業環境測定法 廃棄物処理法</p>
16、その他の情報	<p>記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価は必ずしも万全ではありませんので製品の取扱いには十分注意をお願いします。</p> <p>また、注意事項は通常の取扱いを対象としております。特別な取扱いをされる場合は用途・用法に適した安全対策を新たに実施してお取扱い下さるようお願いいたします。</p>

製品安全データシート

製造者情報

担当部門 四日市工場 技術部
 電話番号 0593-45-1480 FAX番号 0593-46-8199
 緊急連絡先 ユニオン昭和株式会社 四日市工場
 電話番号 0593-45-1480
 改訂4版 1997年12月 1日
 改訂5版 2000年 1月25日 下線部

整理番号 No. 1401 (全5ページ)

製品名 合成ゼオライト (モレキュラーシーブ) 4A

物質の特定

化学名 ナトリウム アルミノシリケート (混合物)

含有量 Na₂O 30%以下
 MgO 5%以下
 Al₂O₃ 30%以下
 SiO₂ 50%以下

化学式・構造式 Na₂O, MgO, Al₂O₃, SiO₂

官報公示整理番号 (化審法)	Na ₂ O	第1類	495番] の包紙化合物 (注1)
	Al ₂ O ₃	第1類	23番	
	SiO ₂	第1類	548番	
	MgO	第1類	465番	

CAS No. Na₂O 1313-59-3
 MgO 1309-48-4
 Al₂O₃ 1344-28-1
 SiO₂ 7631-86-9

EINECS No. Na₂O 2152089
 MgO 2151719
 Al₂O₃ 2156916
 SiO₂ 2315454

EINECSにはゼオライトはEINECS No. 2152888としても登録されている。

国連分類 Na₂O クラスB (腐食性物質、容器等級2) (注2)
 MgO 該当なし
 Al₂O₃ 該当なし
 SiO₂ 該当なし

国連番号 Na₂O 1825
 MgO 該当なし
 Al₂O₃ 該当なし
 SiO₂ 該当なし

（注1）包摂化合物

2種の分子が適当な条件の下でともに結晶し、一方の分子がトンネル形、あるいは層状または立体網状構造をつくり（これを包摂格子という）、その隙間に他の分子が入り込んだ構造ができることがある。これを包摂化合物という。

（中略）

包摂格子だけでも安定に存在しうるものがある。アルミノ達酸塩のうち立体網状構造を持つものには沸石族、方ソーダ石族、柱石族の天然および人造鉱物が知られており、その構造中には水その他の分子やイオンが包摂される。

（注2）腐食性

Na₂Oは単体では腐食性があるが、「合成ゼオライト（モレキュラーシーブ）4A」としては包摂化合物として安定している。第三者機関による腐食性のデータはなく、当社での長期間（10年以上）保存状況からして、通常の保存状態では金属（Carbon Steel）、ポリエチレンへの腐食性は見られない。

危険有害性の分類

分類の名称	:	分類基準に該当しない。
危険性	:	水と接触すると発熱する。 高濃度の塩化水素、炭化水素等の化合物を急激に吸着したとき発熱する可能性がある。 タンク内で窒素を吸着し、酸素過剰となる可能性がある。
有害性	:	眼を刺激し結膜の充血をおこすことがある。 皮膚を刺激し局部的に炎症、又は、はれをおこすことがある。 吸入した場合、鼻・喉を刺激し、喉・肺の不快感を伴うことがある。 喘息・肺炎・じん肺などの肺疾患を悪化させることがある。 飲み込んだ場合、生組織の水分を奪い、炎症をおこすことがある。
環境影響	:	不明

応急措置

眼に入った場合	:	滑らかな流水で直ちに少なくとも15分以上洗眼し、速やかに医師の手当を受けること。
皮膚に付着した場合	:	直ちに付着部又は接触部を水と石鹸で完全に洗い流すこと。
吸入した場合	:	直ちに新鮮な空気の所に移すこと。
飲み込んだ場合	:	多量の水を飲ませ、速やかに医師の手当を受ける。

（・使用済品は、使用した時の吸着または付着した化合物等が残留している可能性がある。）

火災時の措置

- ・不燃。
- ・使用済品は、使用時に付着した可燃性化合物等が残留していて、火災を引き起こす恐れがあるので可燃物と同様に取り扱いに注意する。

こぼれた時の措置

- ・除去後、汚染区域を水洗する。
- ・洗浄液は回収する。
- ・廃棄は別項（廃棄上の注意）による。

取扱い上の注意

- ・ 吸い込んだり、眼、皮膚に触れないよう、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業することが望ましい。
- ・ 作業環境粉じんを局所排気装置などで、許容濃度（暴露防止措置の欄参照）以下に保つように努める。
- ・ こぼしたり、飛散しないようにする。
- ・ 水との接触（吸湿、吸水）により強く発熱し、火傷、突沸などを起こすおそれがあるので、急激な接触をさける。
- ・ 容器を転倒させたり、落下させたりしないようていねいに取扱う。
- ・ 吸着塔などへの充填時、ガス吸着によって、内部の空気組成が富酸素になる場合があるので、火気注意及びタンク内作業者への安全確保に留意する。
- ・ 高温下で反応性物質と接触すると、反応性物質の重合あるいは分解反応等を起こす恐れがあるので、使用上の注意をよく読んで取り扱う。
- ・ 容器は納入時には密封されており、気温変化により内部が加圧又は減圧状態となっていることがあるので必要に応じてメガネ・手袋・マスク等の保護具を着用の上、注意深く開缶・開袋する。

（上蓋にスクリューがあるドラムについては、スクリューを徐々にゆるめ、大気圧に戻ったことを確認の上、開缶すること）

保管上の注意

- ・ 容器を密封保管する。
- ・ 雨水、直射日光を避ける。
- ・ 荷崩れを起こさない。

暴露防止措置

- 管理濃度 : (決められていない)
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 ;
 ACGIH (TLV-TWA) (1997) ;
 Na_2O (決められていない)
 MgO ダストとして $10\text{mg}/\text{m}^3$
 Al_2O_3 $10\text{mg}/\text{m}^3$
 SiO_2 $10\text{mg}/\text{m}^3$
 吸入ダストとして $3\text{mg}/\text{m}^3$
 OSHA (PEL-TWA) (1996) ;
 Na_2O (決められていない)
 MgO 全ダストとして $15\text{mg}/\text{m}^3$
 Al_2O_3 全ダストとして $15\text{mg}/\text{m}^3$
 吸入粒子として $5\text{mg}/\text{m}^3$
 SiO_2 全ダストとして $15\text{mg}/\text{m}^3$
 吸入粒子として $5\text{mg}/\text{m}^3$
- 設備対策 : ・ 屋内作業場で取り扱う場合は、発生源を完全に覆うか、又は局所排気装置を設置する。
 ・ 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その場所を明示する。
- 保護具 : 呼吸用保護具 ; 防塵マスク着用
 保護眼鏡 ; ゴーグル着用
 保護手袋 ; 保護手袋着用
 保護衣 ; 皮膚に直接触れないよう作業着着用

物理／化学的性質 1)

外観	: 茶褐色柱状	蒸気圧	: なし
沸点	: なし	蒸気密度	: なし
揮発性	: なし	融点	: 800℃以上
密度	: 1.1 (水=1.0)		
溶解度	: 水に不溶		
pH	: 8-11 (10%スラリーで)		

危険性情報 (安定性・反応性) 1)

引火点	: なし
発火点	: なし
爆発限界	: なし
安定性	: 通常の取扱い条件では化学的に安定。
反応性	: 水に接触すると発熱する。 高濃度の塩化水素、炭化水素等の化合物を急激に吸着したとき発熱する可能性がある。
腐食性	: 不明

有害性情報 1)

皮膚腐食性	: 人によってはかぶれ、炎症を起こすことがある。
刺激性	: 人によっては眼、皮膚に刺激性がある。
急性毒性	: 雄ネズミに32g/Kgを経口接種し、14日後、生理組織に顕著な影響は見られなかった。
慢性毒性	: じん肺の進行は起こさないと考えられるが、長時間のダストの吸引は、肺機能損傷の原因となることがある。
発ガン性	: 不明
催奇形性	: 不明

環境影響情報 1)

蓄積性	: 不明
魚毒性	: 不明
BOD	: BOD成分を含有せず。

廃棄上の注意

- ・ 水中に投入し、中和した後廃棄する。
- ・ 産業廃棄物の処理を埋立によって行う場合は、アルカリ性の汚泥とし、更に廃棄物の処理に関する適用法令に基づき処分する。
- ・ 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後処分する。

輸送上の注意

- ・ 容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷くずれ防止を確実にし、輸送中は直射日光・雨水がかかるのを避ける。

適用法令

廃棄物の処理および清掃に関する法律 : アルカリ性の汚泥

その他

引用文献

- 1) UOP編: MATERIAL SAFETY DATA SHEET
 - 2) NIOSH: POCKET GUIDE TO CHEMICAL HAZARDS
 - 3) DONALD W. BRECK: ZEOLITE MOLECULAR SIEVES--STRUCTURE, CHEMISTRY, AND USE
 - 4) 原 伸宣、高橋 浩: ゼオライト--基礎と応用 講談社サイエンテフィク
 - 5) 岩波理化学辞典(第3版) (株)岩波書店
-

記載内容の問い合わせ先: ユニオン昭和株式会社 四日市工場 技術部
0593-45-1480

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。
危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、使用条件に応じた安全な取扱いに充分注意して下さい。

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名 : 株式会社トクヤマ
 住所 : 東京都渋谷区渋谷三丁目3番1号
 (渋谷金王ビル)
 担当部門 : 化成品営業部東京販売2課
 電話番号 : 03-3597-5031
 FAX番号 : 03-3597-5147
 緊急連絡先 : 株式会社 トクヤマ 広島支店
 電話番号 : (082)221-9431

作成 : 1994年 6月20日
 改訂 : 1997年 6月30日

【整理番号】 00403

【製品名】 粒状塩化カルシウム (食添)

【物質の特定】

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
 化学名 : 塩化カルシウム (2水塩)
 含有量 : 73.0%以上
 化学式 : $\text{CaCl}_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$
 化審法番号 : (1) - 176
 CAS No. : 10043-52-4
 TSCA登録 : あり
 EINECS No. : 233-140-8
 国際分類及び国連番号 : 危険物に該当しない。

【危険・有害性の分類】

分類の名称 : 分類基準に該当しない。
 有害性 : 皮膚に触れた場合、刺激はないが潮解によってべとつく。人によってはかぶれを生ずることがある。

【応急措置】

皮膚に付着した場合 : 清浄な水で洗浄する。
 眼に入った場合 : 清浄な水またはほう酸水で最低15分間洗眼し、目薬をさす。
 痛みがあれば眼科医に相談する。
 吸引した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、水でよくうがいする。痛みがある場合は、医師に相談する。
 飲み込んだ場合 : 大量に飲み込まない限り心配ない。十分に水を飲み希釈すること。

【火災時の措置】

消火方法 : 不燃物である。
 (周辺火災の場合) 速やかに容器を安全な場所へ移す。移動不可能な場合は、容器に散水して冷却し、容器の破壊を防止する。製品が溶け込んだ消火排水は、アルカリ性なので中和処理が必要となる。

【漏出時の措置】

- 1)少量の場合は、水で洗い流すか、拭き取る。
- 2)大量の場合は、固体のまま集め回収した後大量の水で洗い流す。
- 3)作業の際は、手袋、保護眼鏡等を着用して行う。

【取扱い及び保管上の注意】

平常状態のもとでは、長期に化学的に安定であるが、吸湿性は甚だ大きい。保管、取扱いについての法的規制はないが、保管については湿気を防止する為次の注意が必要である。

- | | |
|-------|---|
| 取 扱 い | : 1)皮膚に触れないように手袋等を着用する。
2)粉塵がたたないように排気等を行う。
3)眼に入らぬように保護眼鏡等を着用する。 |
| 保 管 | : 1)湿気の少ない場所に保管する。
2)袋を開封後は、速やかに使用する。開封後長時間保管する場合は、容器を密閉して収納する。 |
| 使 用 量 | : 道路の凍結防止剤として使用する場合はまき過ぎに注意すること。散布量の目安は50g/m ² とする。 |

【暴露防止措置】

塩化カルシウムは、保護具、保護設備等の法規上の規制はない。皮膚に触れた場合、刺激はないが人によってはかぶれを生ずることがある。

- | | |
|---------|--|
| 管 理 濃 度 | : 設定されていない。 |
| 許 容 濃 度 | : 設定されていない。 |
| 設 備 対 策 | : 法規上の規制はないが、粉塵がひどい場合は排気設備を設ける。 |
| 保 護 具 | : 呼吸用保護具・・・防塵用マスク
保護眼鏡・・・眼鏡、ゴーグル
保護衣・・・ゴム手袋、ゴム長靴 |

【物理／化学的性質】 1) . 4)

- | | | | |
|-------|----------------|-------|---------------------|
| 外観等: | 白色粒状の固体 | 沸 点: | 1600℃以上 |
| 比 重: | 1.85(25℃/4℃) | 分子 量: | 147.02 |
| 融 点: | 176℃ | 溶解熱: | -285kJ/kg(-68cal/g) |
| 粘 度: | 5mPa·S(35%水溶液) | 溶解性: | 水、エタノールに可溶 |
| P H : | 8~10(20Be') | 水溶解度: | 37.3g/100g溶液(0℃) |
| 比 熱: | 1.172kJ/(kg·℃) | 水溶解度: | 61.4g/100g溶液(100℃) |
| 吸湿性: | 甚だ大 | | |

【危険性情報】

- | | |
|---------|--------------------------|
| 引 火 点 | : なし |
| 可 燃 性 | : なし |
| 発 火 性 | : なし |
| 酸 化 性 | : なし |
| 自己反応性 | : なし |
| 安定性・反応性 | : 平常状態のもとでは長期に化学的に安定である。 |

【有害性情報】

- 皮膚腐食性 : 人によってはかぶれを生じることがある。

刺激性（皮膚、眼）：皮膚への刺激はない。眼に入ると痛みを感じる。

急性毒性 ²⁾	経路	動物種	毒性値
経口		ラット	LD ₅₀ 1,000(無水物)mg/kg
		ウサギ	LD ₅₀ 1,384 "
腹腔		ラット	LD ₅₀ 500 "
		ハト	MLD 1,120 "
静脈		ラット	MLD 168.7 "
		モルモット	MLD 150 "

亜慢性及び慢性毒性²⁾：

動物種	薬品量	症状
牛	10,000~15,000mg/L (1日500~700mg/kg)	神経、食欲にゆるい作用
羊	20,000~25,000mg/L	6週間許容

【環境影響情報】

魚毒性：塩化カルシウムとして下表のTLM値が報告されている。³⁾

水中生物種	実験方法	時間	濃度(mg/L)
Daphnia magna(無脊椎)	静的生物検定(急性)	1日	3,526
		2日	3,005
Lepomis macrochirus(淡)	静的生物検定(急性)	1日	8,350
Lymnaea sp(卵)(軟)	静的生物検定(急性)	1日	4,485
		2日	3,094
		3日	2,373
Lepomis macrochirus(淡)	連続流通式生物検定(急性)	4日(急性小)	9,500
		4日	11,300

植物への影響：高濃度溶液が直接植物に触れると、成長障害を起こすことがある。

【廃棄上の注意】

- 1) 廃棄についての法的規制はない。
- 2) 大量の水で洗い流す。(溶液はアルカリ性を示すので中和後放流する。)
- 3) 大量の場合は、廃棄物処理業者に依頼する。

【輸送上の注意】

容器の破損、荷崩れに注意する。

【適用法令】

製品に適用される国内法規はない。

【記載内容の取扱い、その他】

1. 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。また、記載の注意事項は通常の見出しを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保証するものではありませんので、特殊な取扱いの場合には当方へご相談ください。

2. 記載内容の問い合わせ先：

株式会社トクヤマ 山口県徳山市御影町1番1号
ソーダ薬品製造部 技術課
TEL 0834 (22) 2917, FAX 0834 (31) 0703

3. 引用文献：1) 食品添加物公定書解説書 第4版 広川書店(1979)
2) 主要化学品1000種毒性データ特別調査レポート
3) 魚類と水中生物に及ぼす化学品の毒性データ
インダストリアルデータセンター(1973)
4) 化学便覧基礎編 丸善株式会社(1975)

第一テクノ株式会社 御中

作成日：2007年6月11日

製品安全データシート

1. 製造者情報

製品名：アミロックスNo. 1A
会社名：日本コーンスターチ株式会社 衣浦事業所
所在地：愛知県碧南市玉津浦町1番地
担当部門：品質保証部 化工澱粉品質管理課
担当者（作成者）：岩瀬文夫
電話番号：0566-42-3131（代） Fax番号：0566-48-2282
製品コード：
緊急連絡先：

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品
化学名：アルファー澱粉
成分及び含有量：アルファー澱粉100%
化学式又は構造式： $(C_6H_{10}O_5)_n$
官報公示整理番号：該当なし
CAS No.：9005-25-8
国連分類：該当なし 国連番号：該当なし

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：検知なし。
有害性：なし。
環境影響：水生生物に対し毒性はないが、水質汚濁源となる場合がある。
主要な兆候：なし。
分類の名称（分類基準は日本方式）：その他の加工澱粉。

4. 応急措置

吸入した場合：必要に応じうがいする。
皮膚に付着した場合：水洗する。
目に入った場合：水洗する。
飲み込んだ場合：措置不要。
最も重要な兆候及び症状に関する簡潔な情報：特になし。

5. 火災時の措置

消火剤：水、粉末、炭酸ガス、泡等。
消火方法：付近の着火源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火を行う者の保護：消火服等を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出の措置

人体に対する注意事項：防塵マスク等を着用し回収する。
 環境に対する注意事項：本品を含む廃水の公共用水域への排出は水質汚染源となる。
 除去方法：掃き寄せ又は吸引して回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：エア輸送の場合はアースを設置する。
 粉塵濃度に留意する。
 注意事項：火気に注意する。
 屋内作業では排気装置の設置が望ましい。

保管

適切な保管条件：高温多湿を避け屋内保管する。
 水濡れによりカビ等の発生があり得るため水濡れ厳禁。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：排気・排出装置の設置が望ましい。
 許容濃度：ACGIH 10mg/m³ OSHA 15mg/m³

保護具

呼吸器の保護具：保護マスクを着用することが望ましい。
 手の保護具：手袋を着用することが望ましい。
 目の保護具：保護メガネを着用することが望ましい。
 皮膚及び身体の保護具：作業衣等に特別な保護具は不要。

9. 物理的及び化学的性質

形状：粉末
 色：白色又は微黄白色粉末
 臭い：ほとんど無臭。わずかにでん粉臭あり。
 pH：5
 比重：約 1.6
 カサ密度：0.4~0.7 g/ml
 引火点：なし
 発火点：410℃
 溶解性（水、溶剤等）：水に可溶。
 腐食性：なし

10. 安定性及び反応性

安定性：安定で反応性無し。
 反応性：特記すべき反応性なし。
 発生する有害性のある物質：なし。
 発火性（自然発火性、水との反応性）：なし。
 酸化性：なし。
 自己反応性・爆発性：なし。

11. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性	: データ無し。
刺激性（皮膚、眼）	: データ無し。
感作性	: データ無し。
急性毒性（50%致死量を含む）	: なし。
亜急性毒性	: なし。
慢性毒性	: データ無し。
異変原性（微生物、染色体異常）	: データ無し。
生殖毒性	: データ無し。
催奇形性	: データ無し。
その他（水と反応して有毒なガスを発生する等を含む）	: データ無し。

12. 環境影響情報

移動性	: なし。
残留性	: なし。
分解性	: 微生物により分解する。
生態蓄積性	: データ無し。
生態毒性	: データ無し。
魚毒性	: データ無し。
その他	: 本品を含む廃水を公共用水域への排出は水質汚染源となる。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法：許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託する。
 本品は廃棄物処理法の可燃性ゴミ又は動植物性廃棄物に該当する。
 使用済み容器は、コンテナは弊社に返品する。
 また、紙袋は専門業者に委託しリサイクル又は焼却する。
 注意事項：焼却の場合は、ダイオキシン類の発生がないように燃焼方法に注意する。

14. 輸送上の注意

注意事項：荷崩れ、容器の破れ及び水濡れ防止措置をする。

15. 適用法令

食品衛生法などに一部該当する。

16. その他の情報

- ・本品は、「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）」及び「労働安全衛生法（第57条の二）」の対象物質ではありません。
- ・本品は、内分泌攪乱物質（疑われている67物質とそれを容易に生じる前駆物質など）に該当する物質ではありません。
- ・本品は2002年10月までに作成された国際化学物質安全カード（ICSC日本語版）に記載されておられません。
- ・記載内容の取り扱い
 この情報は、完全さや正確さを保証するものではありません。また新しい情報により改訂することがあります。
 注意事項は通常的な取り扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合は用途に適した安全対策を実施の上ご利用ください

製品安全データシート

会社名 富士タルク工業株式会社
 住 所 大阪府堺市築港浜寺西町 17-1
 担当部門 品質管理部 担当者 石井 茂
 TEL 0722-68-1455
 FAX 0722-68-3117
 作成日 2000年04月01日
 改訂日 2001年04月01日

MSDS No. 64S

製品名 (化学名、商品名など) タルク SP-64S

物質の特定	化学名	含水珪酸マグネシウム					
	含有量	SiO ₂	MgO	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	CaO	Ig.Loss (単位=%)
		61.0	32.0	0.5	0.5	1.0	7.0
	化学式又は構造式	3MgO·4SiO ₂ ·H ₂ O					
	CAS No.	14807-96-6					
	化審法番号	なし					
	安衛法番号	なし					

危険有害性	外観等	白色微粉末
	火災、爆発性	なし
	有害性	なし (アスベスト検出認めず)
	生態影響	なし
	国連分類	なし 国連番号 なし
	PRTR 法	該当物質なし
	安衛法通知対象物質	該当物質なし

救急処置	皮膚に付いた場合	水で洗って下さい。
	目に入った場合	速やかに、水で洗眼して下さい。
	その他の場合	粉じんを吸入しないように、留意下さい。

火災時の処理	消火方法	不燃性 (限定なし)
	消化剤	不燃性 (限定なし)

漏出事の処置	掃き集めて、空袋等に入れて処分して下さい。
--------	-----------------------

取り扱い及び 保管上の注意	取り扱い 保管	粉じんの飛散しないように、留意下さい。 屋内保管で、水濡れ、吸湿に留意下さい。
------------------	------------	--

接触、吸入防止	許容濃度 防止対策	ACGIH: 2mg/m ³ (1983 年) 防じんマスクの着用、局所排気装置等の設置。 (取り扱い、使用時等に粉じんの飛散のある場合)
---------	--------------	--

物理、化学的性質	密度	2.8	融点(°C)	1400
	引火点(°C)	引火しない	水溶解度(g/l)	溶解しない
	発火点(°C)	発火しない	爆発範囲	爆発しない
	その他	不燃性		
	安定性、反応性	安定、反応しない		

有害性情報	急性毒性	なし
	刺激性	なし
	その他毒性	なし
	生態影響	なし

輸送上の注意	水濡れ、破袋に留意下さい。
--------	---------------

廃棄上の注意	産業廃棄物業者に依り処分下さい。
--------	------------------

主な適用法規	安衛法 22 条、安衛則 576、577、582、597、598 条等を御参照下さい。 (粉じん予防策)
--------	---

作成日 2006年12月 1日
改定日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: アモルデンTB-8N

会社情報 大和化学工業株式会社 東京工場
 担当部門: 東京研究開発部
 住所: 東京都江戸川区中央4-17-28
 電話番号: 03-3653-1171
 FAX番号: 03-3655-9025
 用途及び使用上の制限: 繊維・糊剤・その他防汚防カビ剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類
 金属腐食性: 区分1
 皮膚腐食性/刺激性: 区分3
 眼損傷性/眼刺激性: 区分2B
 ラベル要素
 絵表示又はシンボル: 腐食性



注意喚起語: 警告
 危険有害性情報: 金属腐食のおそれ
 軽度の皮膚刺激
 眼刺激

注意書き
 使用前に取扱説明書入手すること。
 すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 呼吸器用保護具/保護手袋/衣類/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 他の容器に移し替えないこと。

3. 組成、成分情報

物質
 単一製品・混合物の区別: 混合物
 含有成分: 非公開
 官報整理番号(化審法): 登録有
 CAS No.: 登録有

4. 応急処置

目に入った場合: 汚浄な水で最低15分間目を洗浄した後、刺激が続けば眼科医の手当てを受けること。洗浄の際、まぶたを指で開いて目のすみずみまで水がよくゆきわたるように洗浄する。

皮膚に触れた場合: 汚染された衣服は脱ぎ捨てる。製品の触れた部分を水で洗浄し、石鹸を使ってよく洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが続くときは、直ちに医療機関の処置を受ける。

大量に吸入した場合: 患者を直ちに空気の新鮮な場所へ移し、安静保温につとめ速やかに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合: 食塩水又は多量の水を飲ませて、嘔吐させ、直ちに医療処置を受ける。

5. 火災時の処置
 消火方法： 消火作業は風上から行ない、保護具を着用する。
 消火剤： 水、粉末、泡末、炭酸ガス、乾燥砂
6. 漏出時の処置
 作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。当該漏出液をおがくず、ウェス、砂などで吸収させ空容器に回収する。大量の場合は土砂などで流れを止め、できるだけ空容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意
 取扱い： 漏洩の防止、接触、吸入防止の為の個人保護具着用
 保管： 直射日光を避け、密栓して冷暗所に保管する。
8. 暴露防止及び保護措置
 管理濃度： 設定されていない。
 許容濃度： 設定されていない。
 換気装置： 屋内作業の場合は、局所排気装置を設置することが好ましい。取り扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明示する。
 保護具： 呼吸用保護具、保護眼鏡、防災面、保護手袋、長靴等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質
 外観： 淡黄色透明液体
 溶解性： 水に易溶
 引火点： なし
 発火点： なし
10. 安定性及び反応性 通常の取り扱いにおいて安定。アルカリと反応する。
11. 有害性情報
 皮膚刺激性： 刺激性あり(但し、モルモット:1%水溶液では無刺激)
 眼刺激性： 刺激性あり(但し、モルモット:1%水溶液では無刺激)
 急性毒性： 経口 LD50 6,000mg/kg (ラット)
 変異原性： 陰性 (Ames)
12. 環境影響情報
 魚毒性： データなし
13. 廃棄上の注意
 廃棄する場合は、焼却(大気汚染防止法に定めるところによる)するか、産業廃棄物処理業者へ委託する。
14. 輸送上の注意
 国連分類： 非該当
 国連番号： 非該当
 運搬は、消防法他、関係法規の定めるところによる。車両等によって運搬する場合には、荷送人は運送の注意を行なう。運搬に関しては、容器に漏れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にする。

15. 適用法令

消防法:	非該当
PRTR法:	非該当
労働安全衛生法:	非該当

16. その他

危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて一般的な取り扱いを前提にして作成してありますが、ご需要家各位は、これを参考にして自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置をお取り下さるようお願い致します。

製品安全データシート

会社 日本化成株式会社
 住所 兵庫県西宮市深津町6番37号
 担当部門 研究室
 担当者 川原
 電話番号 0798-86-0767
 FAX番号 0798-86-0442
 緊急連絡先 同上
 電話番号 同上

作成 平成6年8月2日

製品名	カセイライト NP-F
物質の特定	単一製品・混合物の区別 化学名 成分及び含有量 金属錯体 シリカ化合物 化学式又は構造式 化学式 構造式 官報公示整理番号(化審法・安衛法) CAS. No. 国連分類及び国連番号
危険有害性の分類	分類の名称：分類基準に該当しない。 危険性：消防法危険物に該当しない。 有害性：なし 環境影響

<p>危険性情報 (安定性・反応性)</p>	<p>引火点 °C 爆発限界 発火性：なし 自己反応性：なし 粉塵爆発性 その他</p>	<p>発火点 °C 可燃性：なし 酸化性 爆発性 安定性・反応性：安定</p>
<p>有害性情報</p>	<p>皮膚腐蝕性 刺激性 皮膚刺激：なし(ラット) 感作性 急性毒性：LD₅₀ ラット 2.0g/kg以上 慢性毒性 がん原性 変異原性 生殖毒性 催奇形性 その他</p>	
<p>環境影響情報</p>	<p>分解性 蓄積性 魚毒性 その他</p>	
<p>廃棄上の注意</p>		
<p>輸送上の注意</p>	<p>容器、袋が投下等により破損することの無いよう丁寧に取り扱い、荷崩れしないよう留意する。また、雨、湿気等による水濡れに注意する。</p>	
<p>適用法規</p>		
<p>その他</p>		

製品安全データシート

製造者情報

会社：四国化成工業株式会社
 住所：徳島県徳島市志保町吉成127
 担当部門：品質保証課 担当者：松本 茂穂
 電話番号：088-641-4111 FAX番号：088-641-3282
 緊急連絡先：（東京） 03-3490-5161
 （大阪） 06-6282-1441

整理番号 CMC-S

改訂2000年 3月30日

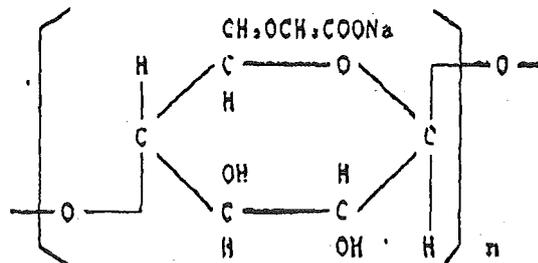
製品名 カセロース

物質の特定

単一、混合物の区分：単一

化学名 カルボキシメチルセルロース・ナトリウム
 繊維素グリコール酸ナトリウム (CMC)
 Na-Carboxy methyl cellulose

含有量 約 70%

化学式 $C_6H_7O_2 \cdot CH_2COONa$ N.W=(162 + 80 X D.S.)

化審法 3-203
 CAS No. 9004-32-4
 国連分類 -

TSCA 登録済、 EINECS No. 未収載
 輸出入統計品目番号 3912.31 (3912.31)
 国連番号 -

危険・有害性の分類

分類の名称：非該当
 外観、臭気：淡黄色粉末または顆粒、殆ど無臭

応急措置

目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗眼し、場合により医師の平当を受ける。
 皮膚に付着した場合：温水でよく洗い、水洗後保護クリーム等を塗布する。
 吸入した場合：水または温水でよくうがいをする。
 誤飲した場合：温水で口の中をよく洗浄する。

火災時の措置

消火方法：一般火災消火をする。
 消火剤：水または一般消火剤が有効。

漏出時の措置

掃き集める。

取扱い及び保管上の注意

取扱い：吸い込んだり、目、皮膚に直接触れないように適切な保護具を着用する。

発散をできるだけ抑え、局所換気装置を設置する。

容器は粗雑な取扱いをしない。

保管：吸湿に注意し乾燥された倉庫で保管する。

暴露防止措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。

設備対策：発生源の密閉化、または局所換気を施す。

保護具：呼吸用保護具：簡易防護マスク

保護眼鏡：保護メガネ

保護手袋：ゴム手袋

物理／化学的性質

外観：淡黄色粉末または顆粒

分解点：約280℃

蒸比重：0.65 ~ 0.9 g/cc

危険性情報

データなし

有害性情報

急性毒性：経口 ラット LD₅₀ 4000mg/kg以上

環境影響情報

データなし。

廃棄上の注意

特になし。

輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を随時に行う。

シート等で覆い水で濡らさない。

適用法令

下記法規のいずれにも該当せず

化審法（第一種特定化学物質、第二種特定化学物質、特定化学物質）

労安法（危険物、特化則、有機則、表示物質）

高圧ガス取締法

消防法

毒劇法

船舶安全法（火薬類＝クラス1～有害性物質＝クラス9）

PRTTR法（第2条第2項及び第3項の対象物質）

労安法（第57条の2第1項の通知対象物質）

その他

本MSDSは弊社の知見に基づき誠意を捧って記載しておりますが、記載されている数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、十分注意をして取り扱ってください。

-以 上-

発行日：2011年 12月 20日

第一テクノ株式会社

改定日：2011年 9月 20日

製品安全データシート

1. 製造者情報

製品名：コーンスターチ
会社名：日本コーンスターチ株式会社 衣浦事業所
所在地：愛知県碧南市玉津浦町1番地
担当部門：品質保証部
電話番号：0566-42-3129 Fax 番号：0566-42-2200
製品コード：—
緊急連絡先：日本コーンスターチ(株)衣浦事業所 電話番号：0566-42-3131

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 (全ての項目)：分類対象外又は区分外

最重要危険有害性：検知なし。

有害性：なし。

環境影響：水生生物に対し毒性はないが、水質汚濁源となる場合がある。

主要な兆候：なし。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品
化学名：コーンスターチ (とうもろこし澱粉)
成分及び含有量：澱粉 100%
化学式又は構造式： $(C_6H_{10}O_5)_n$
官報公示整理番号：該当なし
CAS No.：9005-25-8
国連分類：なし 国連番号：なし

4. 応急措置

吸入した場合：必要に応じうがいする。
皮膚に付着した場合：水洗する。
目に入った場合：水洗する。
飲み込んだ場合：措置不要。
最も重要な兆候及び症状に関する簡潔な情報：特になし。

5. 火災時の措置

消火剤：水、粉末、炭酸ガス、泡等。
消火方法：付近の着火源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火を行う者の保護：消火服等を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出の措置

- 人体に対する注意事項：防塵マスク等を着用し回収する。
環境に対する注意事項：本品を含む廃水を公共用水域への排出は水質汚染源となる。
除去方法：掃き寄せ又は吸引して回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：エア輸送の場合はアースを設置する。
粉塵濃度に留意する。
注意事項：火気に注意する。
屋内作業では排気装置の設置が望ましい。

保管

- 適切な保管条件：高温多湿を避け屋内保管する。
水濡れによりカビ等の発生があり得るため水濡れ厳禁。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策：排気・排出装置の設置が望ましい。
許容濃度：ACGIH 10mg/m³ OSHA 15mg/m³

保護具

- 呼吸器の保護具：保護マスクを着用することが望ましい。
手の保護具：手袋を着用することが望ましい。
目の保護具：保護メガネを着用することが望ましい。
皮膚及び身体の保護具：作業衣等に特別な保護具は不要。

9. 物理的及び化学的性質

- 形状：粉末
色：白色又は淡黄白色
臭い：無臭又は僅かに穀物臭
pH：4.0～6.0
比重：約 1.6
かさ密度：0.4～0.7 g/ml
引火点：なし
発火点：410℃
溶解性（水、溶剤等）：水に不溶。
腐食性：なし
BOD：1%溶液で約 21,000ppm COD：1%溶液で約 7,000ppm

10. 安定性及び反応性

- 回避すべき条件：粉塵状態での火気使用厳禁。
安定性：安定で反応性無し。
反応性：特記すべき反応性なし。
発生する有害性のある物質：なし。
発火性（自然発火性、水との反応性）：なし。
酸化性：なし。
自己反応性・爆発性：なし。
-

11. 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	: データ無し。
刺激性 (皮膚、眼)	: データ無し。
感作成	: データ無し。
急性毒性 (50%致死量を含む)	: なし。
亜急性毒性	: なし。
慢性毒性	: データ無し。
異変原性 (微生物、染色体異常)	: データ無し。
生殖毒性	: データ無し。
催奇形性	: データ無し。
その他 (水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	: データ無し。

12. 環境影響情報

移動性	: なし。
残留性	: なし。
分解性	: 微生物により分解する。
生態蓄積性	: データ無し。
生態毒性	: データ無し。
魚毒性	: データ無し。
その他	: 本品を含む廃水を公共用水域への排出は水質汚染源となる。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託する。
本品は廃棄物処理法の可燃性ゴミ又は動植物性廃棄物に該当する。
使用済み容器は、コンテナは弊社に返品する。
また、紙袋は専門業者に委託しリサイクル又は焼却する。
- 注意事項: 本品にはダイオキシン類の含有はありませんが、焼却する場合は、念のためダイオキシン類の発生がないような燃焼法で行ってください。

14. 輸送上の注意

- 注意事項: 荷崩れ、容器の破れ及び水濡れ防止措置をする。

15. 適用法令

食品衛生法

16. その他の情報

- ・本品は、「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律」及び「労働安全衛生法 (第 57 条の二)」の対象物質ではありません。
- ・本品は、内分泌攪乱物質 (疑われている 67 物質とそれを容易に生じる前駆物質など) に該当する物質ではありません。
- ・本品は、2002 年 10 月までに作成された国際化学物質安全カード (ICSC 日本語版) に記載されておりません。
- ・本品は、亜硫酸塩類 (無水亜硫酸として 30ppm 未満) と微量の蛋白質、脂質、繊維及び灰分を含有します。

・記載内容の取り扱い

この情報は、完全さや正確さを保証するものではありません。また、新しい情報により改訂することがあります。

注意事項は通常的な取り扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合は用途に適した安全対策を実施の上ご利用ください。
